



1543 - 1860 - 2010 PORTUGAL-JAPÃO



1543-1860-2010 年 日本・ポルトガル

ポルトガルコルク工業会、第一回 APCOR Japan Natural Cork Awards 授賞式を開催

受賞者は、根津美術館、隈研吾建築都市設計事務所
オリエンタルホテル東京ベイ、ゲンスラー・アンド・アソシエイツ

2010年12月10日東京 ポルトガルコルク工業会(APCOR)は、駐日ポルトガル大使公邸において、第一回 APCOR Japan Natural Cork Award の授賞式を開催しました。

APCOR を代表しジョアン・ペドロ・ザナッティ駐日ポルトガル大使が賞を授与いたしました。同賞は、日本における建材及び内装材としてのコルクの普及、拡大、成長への優れた貢献を表彰するものです。

2部門に4つの賞が授与されました。一つ目の Outstanding interior design in cork: コルクを使った素晴らしいインテリアデザイン部門は、根津美術館とその改修デザインを担当した隈研吾建築都市設計事務所に贈られました。根津美術館は2006年から3年間をかけて改修され、1,600平方メートルのコルクフロアが施工され、コルクフロアが美しくスタイリッシュである点がハイライトされています。優れた防音性や足裏への快適さをもつコルクフロアは、美術館の床として理想的な素材と言えます。

二つ目の Innovative use of cork's natural qualities: コルクの天然の特長を生かした革新的な利用部門は、オリエンタルホテル東京ベイが子供のために設けた48室のキッズスイートと、そのデザイン設計を担当したゲンスラー・アンド・アソシエイツに贈られました。キッズスイートには安全で快適、健康的環境を提供する素材としてコルクフロアが採用されています。

APCOR キャンペーンの日本代表パウロ・トランコソは次のように述べています。「2010年は日本とポルトガルが1860年に修好通商条約を締結してから150年という記念の年です。この記念すべき年に、日本を代表する組織に賞をお贈りすることができたことを非常にうれしく思っております。また、受賞者の皆さまには、コルクフロアの持つ天然の優れた特長、デザインの無限の可能性、他に比類するものがない環境への優しさを、日本においてハイライトして下さったことを感謝しています。」

コルクは空気を含む無数の細胞組織からなるユニークな構造のため、柔らかく快適で暖かいという特長に加え、耐性が高く、カビや虫も発生しにくいという特長を持ちます。また、断熱性も高く、音や振動も吸収します。コルクはコルク樫の樹皮から作られる100%天然の素材で、持続性があるリサイクル可能な素材です。コルク樹皮の採取では木を伐採しないため、木の寿命が続く限り何度でも採取が可能です。最近の処理技術の発達により、コルクフロアの色やデザインパターンは無限に広がり、快適で、耐性が高く、環境に優しいことに加えてスタイリッシュな素材となっています。





1543 - 1860 - 2010 PORTUGAL-JAPÃO



1543-1860-2010 年 日本・ポルトガル

APCOR – ポルトガルコルク工業会

APCOR はポルトガルのコルク業界を代表してコルクの普及に務めており、250 の会員はポルトガルのコルク生産の 80%、輸出の 85%を占めています。また、APCOR はコルクに付加価値を与えるため、国内外の様々なコルク普及活動に取り組んでおり、大規模な情報リソースセンターも運営しています。<http://naturalcork.jp>

2010 年は日本ポルトガル 150 周年記念の年

2010 年は 1860 年に日本の天皇とポルトガルのペドロ5世が修好通商条約に署名した 150 周年の記念の年にあたります。日本とポルトガルの二カ国関係は、ポルトガル人が初めて日本に渡来した 1543 年に遡ります。

